



いずみざき

平成26年
2月1日
発行

No.19

議会だより



輝く未来を子ども達へ



目次

2ページ..... 議会報告
3～8ページ... 一般質問

9ページ..... 議会インフォメーション
10ページ..... 活動報告・編集後記

〔表紙：泉崎幼稚園(昔あそび交流会)〕



平成25年 第4回12月定例会報告

会 期：平成25年12月5日(木)
～12月13日(金)
議 案：議案12件 発議1件
一般質問：12月10日(火) 6名

提出議案	可・否
議案第60号 泉崎村諸収入金に対する督促手数料及び延滞金徴収条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第61号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第62号 泉崎村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第63号 泉崎村介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第64号 泉崎村営住宅管理条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第65号 泉崎村定住促進住宅条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第66号 平成25年度泉崎村一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第67号 平成25年度泉崎村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第68号 平成25年度泉崎村介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第69号 平成25年度泉崎村住宅用地造成事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第70号 泉崎村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて 住所 泉崎村大字北平山字新田37番地 氏名 穂積 養重	同 意
議案第71号 泉崎村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて 住所 泉崎村大字泉崎字館28番地1 氏名 小林 伸幸	同 意
発議第11号 東京電力福島第一原子力発電所における汚染水問題の早期解決を求める意見書の提出について ○汚染水問題については、国が新たな体制を構築し、財政措置を講じるなど前面に立ち、責任を持って早急に万全な対策を実施するよう強く要望するものであります。	原案可決

「議会中継(録画)及び会議録検索システムが利用できます。」

* 会議の様子や会議の内容が記録されております。泉崎村のホームページからご覧ください。

泉崎村ホームページアドレス：<http://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/>

◎映像閲覧延べ件数：映像 3,261件(月/75.8件) ◎会議録 2,634件(月/61.3件)

一般質問

鈴木清美議員

一、平成24年度の除染実施計画の状況について

二、平成25年度の除染実施計画の状況について



鈴木 24年度の除染の検査状況、竣工状況を教えてください。

除染対策室長 現在の作業の進捗について計画戸数518戸に対して550戸となっております。道路除染について計画延長53.85kmに対して竣工延長が31.2kmです。作業の方は完了しておりますので、現在竣工検査を行っており、今週中には終了する見通しとなっております。

鈴木 道路など入札段階と違って金額的にも違っていると思いますが追加の面積が分かったら教えてください。

除染対策室長 現在竣工に関する数量を取りまとめている最中で正確な数字は、把握しておりません。

鈴木 25年度のコンサルに際して、設計単価と入札予定単価、落札単価とコンサルの会社の内容を教えてください。

副村長 平成24年度は株式会社ヤチヨコンサルで平成25年度はイデアのマネジメント業務を委託発注しました。イデア株式会社が5千50万円で見積りを出してき

ました。村の予定価格は5千700万です。村の予定価格に見合ったので選定しました。

鈴木 特別措置法の除染をなぜやるのか誰にも分かるように説明して下さい。

除染対策室長 原子力発電所の事故で放射性物質により環境汚染に対処に関する特別措置法です。同法では、除染特別区域と汚染状況重点調査地域が規定され、泉崎村は汚染重点調査地域に該当し、除染実施区域を定め計画的に除染を進めている所です。

鈴木 原子力発電所の事故で放射能が飛びましたので、除染しますから戻ったり、もう一度ここに住んでくれないですかと聞いている法律なんです。特別措置法だけは、国が願います。それから除染の説明会で理解できない数字を出してきただけでも、その計算とは何年生で習う計算式ですか。

教育長 小学校では、小数点がついている割り算、まさに今日の問題の過程ですが、これは5年生で行われています。

鈴木 間違った資料でイデアが説明している事自体大変におかしい、人ですら間違いはあります。なぜ修正しないのか教えてください。

除染対策室長 間違った資料で説明会したことは大変申し訳なく思っています。今後このような事のないように注意します。

鈴木 信頼できないのではと思って質問を出しているのです。私の隣の女性、後者の女性がこんな説明を受けて途中退場しました。

副村長 議員の指摘の通りです。事前に帰った状況は事実です。指導する私の責任は重いと感じています。そういう事の無いように注意します。

鈴木 会場に來ている人達はイデアさんにとってお客さんです。お客さんに説明するに数字の間違いや原子力発電所が福島のとどこで事故が起きたか分からない。それと努力が足りていない。

村長 マネジメント会社の不手際、これについては本当に申し訳ないと思っております。最初に特別措置法の

話もありましたけれども、国策でやった結果の後始末です。から、我々は元の姿に戻す、そういった思いで対応しております。除染の完了は非常に大事だと思っておりますのでこれからも続けてやっていきたい。

鈴木 測定した結果が届きました。最終的0.23以下の場合どのような方法でやらないと知らせるのか。

除染対策室長 やはり0.23の数値は国の方は変えない、その辺については詳細に説明をし理解を求めていくというところでございます。

鈴木 コンサル会社が違うと除染組合の人達は大変苦労して竣工を進めているので書類づくりが変わることによっては大変な問題です。24年度と同じ方法での検査、竣工をしていくのか。

除染対策室長 村としては基本的な部分は24年度と引き継ぐ形で行ってまいります。組合に作業員に負担のかからない中身で良い方向に向くのであれば変えていきたいと思っております。

鈴木 良い方向に向くように期待します。

一般質問

飛知和良子 議員

- 一、村で行われる催しについて
- 二、振興基金の返済後の公表について



一、村で行われる催しについて

飛知和 産業収穫祭についてであります。今回は台風の影響で大変心配し、関係者の方々、役場職員の方々には御苦労をおかけ致しました。急きょ例年通りの場所で行い、例年通りのにぎわいとなり安心致しました。

産業収穫祭の備品テーブルの損傷があったのでお尋ね致します。一部のテーブルで全部ではないと思いません。たまたま商工会女性部に、配備になったものが、上がはがれ、古くて重いものでした。毎年このようなイベントを行うのであれば、備品の把握などして、何らかの方法で対処して頂きたい。

産業振興課長 産業振興関係では、桜ウオーク、産業収穫祭など実行委員会、又、外部団体ですけれども、これにより開催しているイベントに使用している部品です。今使用している部品

の一部には破損により買い替えなければならぬものもあり、又、数も不足しており、各関係課と協議し買い替え保管管理なども含めて検討致します。

二、振興基金の返済後の公表について。

飛知和 振興基金の返済完了については、広報や村長の答弁の中で理解致しました。又、村民の方々も十分借金返済完了の件は理解しており、大変喜んで評価しております。今後に対して期待しておりますので、どうか村民が楽しく、将来性のある村づくりに努力し、邁進して頂きたい。

今までの日本一の借金の村を払拭するのに借金返済をした件、どのような形でも良いので、泉崎村は借金を完済したことを、村内は勿論のこと対外的にアピールして頂きたい。考えておられますか、お伺い致します。

村長 現在のところ、イベ



ントあるいはそういった機会は具体的に設けて発表するということは考えていないですが、いろんな機会、行事だったり、会合の中でしっかり報告して参りたいと思いますし対外的にアピールするためであっても、お金がかかることになりまので、今の時期にやるべきかなと、実際に返済は終わりましたけれども、まだまだ余裕があるわけではないんです。基金といいますが、貯金があるわけではないと。議員の皆さんと借金は無くなったよということをしつかりアピールすることは必要だと思えますけれども、基金が十分でないということも現実であります。パランスのとれた行政運営をやらなくてははいけません。

余裕ができた時にまた違う方法で考え、今のところお金をかけてまでという思いがありますのでご理解いただきたい。

一般質問

鈴木盛利議員

- 一、パソコンの二〇一四年問題について
- 二、広報いずみざき等の配布について
- 三、「目で見る泉崎の歩み」について
- 四、今後の泉崎村の方向性について



◎パソコンの二〇一四年問題について。

鈴木 表記に該当する機種の有無について、有る場合の台数と対処費用の金額を伺いたい。

総務課長 該当機種は台数は全体で入れ替は77台、アップグレード11台を予定しており、費用は1千34万9千円です。

◎広報いずみざき等の配布について。

鈴木 催し、イベント等のお知らせ回覧等を自治組合長さんへ届ける日数はどの位の余裕をもって届けていか伺いたい。

総務課長 広報と各種配布物は原則、月一回、第一月曜日にお願ひし、まれに緊急性のある物は担当部署で判断し、少なくとも二週間以上の猶予をもって発送しております。

鈴木 一家で、若者家族、

別棟(隠居)にお年寄りが生活、お年寄りと話しているとの村の事が良く分からないと言った話が出ています。

広報等を隠居に配布する様な考えの有無を伺いたい。

総務課長 現在は一敷地内1部配布とさせて頂いておられます。別棟に配布ということになりますと、同居世帯、同居二世帯からの要求も見込まれて相当数、増加が危惧されます。

家族的交流を深めるためにも、是非ご家庭で話し合いを持たれ、回覧板、広報誌を見る機会をつくって頂きたいと考えております。

◎「目で見る泉崎村の歩み」について。

鈴木 昭和52年に村史が発行され、本年度36年目になります。

この村史は泉崎村誕生(昭和の大合併により昭和29年10月1日泉崎村誕生)の20年目の10月ころに計画案が出され準備委員会発足された

様に思われます。

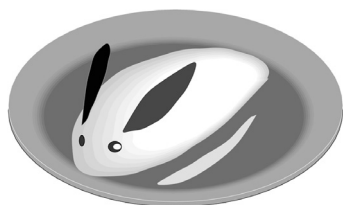
3年前の東日本大震災、又平成12年県から借り入れた市町村振興基金38億5千万を10月に完済した事など記録しておく事、今後の泉崎のために大事なことと思うが所見を伺いたい。

村長 私も久しぶりに見ました、素晴らしい経過等、非常に良い資料で、当時関わった方々には本当に敬意を表したいと思えます。

経済成長期の20年間、その後35年ですか、バブル期、そのバブルの崩壊等により随分様変わりしたと思えます。特に近年の13年間は財政再建の問題、3年前の震災等特に大事な事残しておかなければと思っております。来年で60周年になるのでこれを契機にしてまとめられればと思っております。

◎今後の泉崎村の方向性について。

鈴木 振興基金も完済、今後どの様な村が好ましいか



又村民からの要望と以前庁舎建設基金の創設の事を伺いたい。

村長 ハード面は大幅進んでおりますので、一次、二次、三次産業とサービスのバランスと公害の無い自然環境づくり、特に人づくりの教育が大事と思っております。

要望等は今のところは個人々でのインフラ整備が主です。基金創設は震災で止まっておりますが、建設後50年以上経過しており再開したいと考えております。

公約の駅東の開発も真剣に進めたいと思っております。(現役場庁舎竣工は昭和31年7月30日)

飛知和 村長の思いは良く理解致しました。お金のからない方法で、みんな考えたらどうですか。小中学校の高学年になると、泉崎村は借金のある村だと我慢してきたことが続いてきたので、やはり心の精神的なものを軽くする意味でも考えて頂きたい。今後教育面にも、泉崎村に生まれて育った自信をもってもらいたいと思うので、心のケアというものを考えていきたいと思っておりますのでよろしく願います。



一般質問

白石正雄議員

- 一、財政再建の完了について
- 二、村長選挙公約について



白石 村長の所信表明と行政報告の中で、福島県から借り入れた市町村振興基金38億5千万円の残金返済が10月25日に終了し、泉崎村の財政再建が完了をした事を公式に報告された。泉崎村が財政再建に取り組んで13年が経過しました。

私は議会人として一連の財政破綻と財政再建に関わり、福島県議会の中でも指摘をされた議会の形骸化と、村民に対する情報を操作されたことに大きな反省が必要だというふうに思っている。

財政破綻から13年経過して議会はどう変わったのかという点、議場の配置が変わり、議会や議事録のインターネット配信が始まり、定数が削減をされ、発言時間が制限をされた。進歩した部分もあるが、逆に後退した部分もある。議会の形骸化を防ぐためには実質審議をさらに深める必要がある。そして、議会を大きく進歩させる必要があると考えている。久保木村長は、議員から執行責任者となつて、これまでの財政破綻の原因をどう捉え、何を教訓とされてきたのか。

村長 泉崎村が財政破綻した原因について、執行者と特定の行政マンだけが、中身を把握し情報の公開、開示ができていなかったと感じている。行政としての機能が発揮できていなかった。議会機能も発揮できてなかった。いい例が当時、議長を選出に新人議員が必ず議長をやるというような事が慣例になっており、全国的に見てもほとんどあり得ない状態が続いていた。執行者の意見が非常に強かった、その事を議会が容認していたということがある、大きな要因になっていたと思う。

これまで情報公開、インターネット発信や、その他の情報開示を徹底的にやるという点で、進めてきた。法治国家として法を守る役所の機能が発揮できていなかった、そこを本来の姿に戻すべき、私はそう感じています。

白石 財政自主再建路線設定のために我々も政党として協力して頑張ってきたが、再建達成の道のりの中には陰で支えて頑張り続けてきた人たちがたくさんいる。

当時の矢祭町長だった根本さんをはじめとする県南の市町村長や、人的支援で県から派遣された四人の助役、あるいは村の担当職員として苦労を重ねた退職をした歴代総務課長、あるいは工場団地や住宅地の販売に取組んだ退職職員の皆さん、協力をしてくれた地元の方々、さらには天王台宅地造成費を借金25億6千万円のうち4億6千万円を免除してくれた鴻池組。

そうした再建に協力をしてくれた全国の個人や団体の皆さん、そして忘れてはならないのが小林日出夫前村長の家族の皆さんです。そうした方々に御礼をする機会を公式につくるべきだと考えます。これは泉崎村としてやるべきことです。

財政再建達成報告会、あるいは財政再建達成記念式典のようなものを、来年度の早い時期に開催をして、これまでお世話になった方々に感謝を申し上げると同時に、マスコミにのせて全国に発信をしていくことが大事。見解を伺います。

村長 この13年間のうち私は、後半の4年間携わった、

前小林村長の姿勢、本当に評価をしていますし、感謝を申し上げたいところ。しかし、基金など蓄えの部分、潤沢にあるかと言うと決して、そうではない。今後真剣に考えていきたい。

白石 村内のインフラ整備、村道、農道など拡幅改良工事について、財政再建のために13年間手が着けられず、狭い道路の拡幅が村民要求として出されてきたが実現できなかった。早急に行き計画を村民に示していただきたい。

村長 有利な補助制度の情報収集をくまなくやって実現していきたい。

白石 白河市などですでに実現している、介護保険による住宅修繕などに対する20万円までの支給制度について、一時立て替えを行わず一割の負担で済む「受領委任払い制度」を早急に実現すべきでないか。

村長 真剣に取り組んでいきたい。

一般質問

浅野一成議員

- 一、さつき公園内トイレ脇に大きな蛇口があるが何のため設置されているのか伺いたい。
- 二、天王台住宅販売は駅から近いことがセールスポイントであるので強調した宣伝を行うべきと思うが伺いたい。



浅野 質問に入る前に、白石議員と村長答弁を聞いていて、その当時の重大さが浮かんで来ました。当時は有志で総務省に行きどのようにしたらいいのか勉強、議論したことが思い出されました。今回借入金返済が終わったことで、よかったことは職員の給与5%カットがなくなったことです。当時一議員としてカットに賛成した者として安堵しています。給料は県内で最低、ラスパイレックス指数は近隣村で月約1万円の差、年間12万円。期間中の財政再建の貢献金額は総額で2億6千万円であった。では質問に入ります。

一、さつき公園、トイレ脇に大きな蛇口があるが、何のために設置され、どこで管理しているのか。

- ① 料金は期間中除染組合が全ての料金を負担する。
- ② 業務が完了したら現状復帰する。

③ その他、除染組合が除染作業に必要な水を給水するため設置したものです。

二、天王台住宅販売の販売実績(十年間)とどのような販売方法をしているのか伺いたい。

土地販売促進課長 平成10年から販売を開始し、平成25年11月末日までの販売実績ですが、総区画198区画に対し、販売145区画、残り53区画です。平成16年に全国のテレビ、全国のネットでのテレビ局での放映をされて、村の取り組みがきっかけで2桁の販売実績がありました。今後も駅から7分、東京へ最短で96分で首都圏へのPRをし、大震災以降は営業エリアを県内の原発被災者に重点を置き販売活動を展開しているところで

浅野 前にお願していた、会津美里町、国見町、両行政分譲地の販売状況はどうですか。

土地販売促進課長 会津美里町は販売にいたってない。国見町はニュータウンは平成23年9月から助成制度を

設けて、20区画の内販売が11区画、残り9区画の状況です。

浅野 駅から近いことは最大のセールスポイントで、駅に近い天王台分譲地は他に中々見当たらない。しかし、現時点では不動産取引業法によって誇大広告に抵触してPR出来ない。先日「政経東北」12月号に泉崎村団地販売に光明と載っていた。同村なら東京に行くにも便利だし、高速道路のインターも近い。条件的にはまずまずです。ここに駅からというところが載っていたらと思う。私、朝方現地東側から天王台公民館まで歩いて3〜4分でした。

3〜4分です。駅まで行き帰りに来る分譲地は他にはないのではないかと思うので、行政として予算化してゴイスインをして行けば誇大広告には抵触しないのではないかと思うので検討していただきたいと思います。流行語大賞にノミネートされた「今でしょ」ではないが、今ではないのでしょうか。先程答弁で全国的なテレビ放映によって平成16年30区画、17年18区画販売、坪9万5千円を前村長はどうしたら売れるのか

考えに考えた末に東京への行脚によってマスコミを動かし販売につなげた。政治生命をかけての行いで敬意を表したい。先程村長も評価されていました。全くそう思いました。

村長 東口開発、選挙公約等で話しています。基金制度を確立してやらせていただきます。計画をいつやりますかの意味では「今でしょ」と答えられるけど、オープンとは聞かれると不確定要素が多いので「今でしょ」とは言えないところがあります。一日も早く実現するということが販売にとって非常にプラスになると思っています。

浅野 一日も早くPRができるような方法(東口開発)をとっていただきたい。現地で周りを眺めていて、大事なことは地権者の協力が一番重要であると思いましたが、又、東側からの乗り降りが出来ることによって、天王台団地だけでなく東側地域の方、北平山、関和久中島、旧東村の利用は拡大して、利便性及効果は相対的なものがあると思います。

一般質問

廣瀬英一議員

- 一、村除染事業の進捗状況について伺う
- 二、県市町村振興基金完済後の村職員、及び村三役の給与について伺う



廣瀬 除染事業の進捗状況について、24年度分の面的除染の進捗状況と完了状況、工期延長の状況などについて、伺いたい。

除染対策室長 業務に関する現場については、完了しております。現在数量をまとめ精算設計を作成しており、県の審査を受け、組合と変更契約を締結し全体の竣工検査を行います。時期については、県からの返答時期にもよりますが、12月20日が履行期限となっているので、それに向けて事務作業を進めてまいります。

廣瀬 仮置き場が3ヶ所、今週中に完了するとのことですが、仮置き場の管理はどのようにするのか。

除染対策室長 現在、踏瀬、太田川、泉崎中核工業団地に設置しておりますが、いずれも今後面的除染の他に事業所も入ってきたときに使用するので、請け負った業者の方で管理をしていただくこととなります。なお、それらが完了した時点で、新たな管理者を設定して

管理を行っていく形になるかと思えます。

廣瀬 24年度分の除染事業の中で、除染されていないところは今後どうなるのか。

除染対策室長 第一工区の中で数件、当初除染を行わないと言っていた方が、完了間際に申込まれたので、25年度で対応していきたいと思っております。

廣瀬 25年度の発注状況について、発注の状況、内容をお聞かせください。

除染対策室長 平成25年度の発注状況につきましては、除染事業マネジメント業務をイデア株式会社に発注。また、除染業務委託事業第二工区を泉崎村除染復興対策事業協同組合に発注しております。第三工区として北平山と八雲を併せた地区、第四工区として関和久地区、これらにつきましては、入札を行い、現在、契約事務を進めているところでありまして、請負業者につきましましては、第三工区に

を持つイケダ建設株式会社東北支店、第四工区につきましては、やはり東京に本社を持つ株式会社フジタ東北支店福島営業所、両者とも除染の実績がある会社です。

廣瀬 県市町村の振興基金完済後の村職員と三役の給与について、村職員の件につきましましては、議案として提案されているので、議決されれば1月からということですが、三役の給与についてどのようにお考えか、村長のお考えをお聞きしたい。

村長 今年度の補正予算で職員の給与については今回、提案しております。三役ということでありますけれども、非常に難しい問題、いざれにしても、ただ執行者の中で正直、副村長あるいは教育長、半額でやっていただいているんですね。これ本当に申し訳ない気持ちですけれども、全面的に協力いただいたということ、私の思いとしては、私のこととはともかくとして、元に戻しても再建がなった現状

を考えると容認していただけるのかなという思いは持っておりますので、それは当然4月から、年の始まりということですし、給与のスタート月は年の始めですから、3月の議会に諮って議員の皆さんにご理解いただければというふうに思っています。私については近隣の問題もありますし、いろんなことを勘案して考えたいというふうには思っております。そんなことで今は、考え中でありまして、今この段階で考えていることは来年度からは戻して、容認いただけるのかなと副村長とか教育長ですね。そんな思いでいます。

廣瀬 私、議員の1人として、村長も戻すべきだと。1回は戻して、正常に戻すと、そうあるべきだと思っておりますので、村長からの答弁では3月に考えたいという内容いただきましたので、できれば村長も含めて戻された方がけじめがつかうと思っておりますので、そのようなお考えでいけばと思

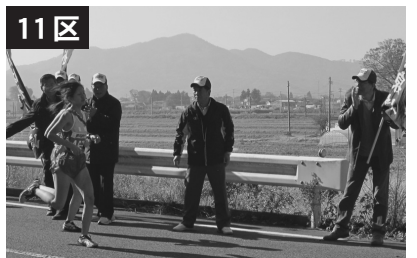
●福島県町村議会議員研修会 10月29日(火)

福島県町村議会議長会主催による、町村議会議員研修会がビックパレットふくしまにおいて開催されました。岡田久典氏による「省エネ、再生可能エネルギーを活用した地域再生・復興戦略」、また、小林良彰氏による「これからの日本の政治について」の講演でした。

●2013 ふくしま駅伝応援 11月17日(日)

再び「村の部優勝」を目指して、一生懸命に走る選手の応援に駆け付けました。選手ひとり1人の力強い走りに大きな声援を送り続けました。「村の部優勝を果たした！」との連絡を受けた時には喜びと感動がこみ上げてきました。

選手の皆さん、選手を支えてくださった関係者各位に感謝申し上げます。お疲れさまでした。



●泉崎村議会議員研修 11月26日(月)～27日(火)

11月26日～27日にかけて、いわき方面の研修を行いました。いわき市沿岸部の当時の様子、復旧復興の経過、地域の方々の思いなど、説明を受けました。自然災害の脅威と原発事故の影響による復旧の遅れなど、復興までは厳しい道のこと、そのような中でも地域の方々の強い復興への思いが感じられました。

そして、本村の災害時の防災体制、初動活動、相互連絡体制の重要性を再認識いたしました。



●第一小学校 社会科授業 平成26年1月15日(水)



泉崎第一小学校 6学年「泉崎村議会について知ろう」

第一小学校6年生の社会科授業に講師として招かれ、議会の内容、議員の仕事、泉崎村の状況、学校の環境整備などについて話をしました。子ども達は真剣な眼差しで聞きながらメモをとり、議会の仕事、泉崎村の姿について理解を深めたようで全員からすばらしい感想文をいただきました。

次期定例会のお知らせ！

3月4日(火)からの予定です。

一般質問は3月11日(火)の予定
——傍聴にお越しくください。——

議 会 活 動 報 告

編 集 後 記

【9月】

12日 泉崎村交通対策協議会
14日 平成25年度泉崎村敬老会
19日 新宿・寺前地区側溝改修事業説明会

20日 泉崎村農業委員会総会
23日 第5回市町村対抗軟式野球大会
24日 秋の交通安全テント村作戦
25日 例月出納検査
26日 交通安全鼓笛パレード
 (向藤製作所第二工場落成式
 第25回ふくしま駅伝
 「泉崎チーム結団式」)

28日 泉崎幼稚園秋季大運動会
29日 愛郷の輝き「稲刈り体験」

【10月】

1日 西白河地方町村議会議長会定例会
8日 第23回町村監査委員全国研修会
 (～9日まで)
11日 岩通泉崎メガソーラー発電所
 オープニングセレモニー
18日 議会運営委員会
 平成25年度花いっぱい運動
 コンクール表彰式
19日 泉崎中学校文化祭
 第5回市町村対抗軟式
 野球大会慰労会

20日 泉崎村消防団秋季検閲
22日 第1回(10月)泉崎村議会臨時会
 泉崎村農業委員会総会
 西白河地方戦没者追悼式
23日 圏域市町村長並びに代表議長会議

【11月】

2日 第16回泉崎村音楽祭
6日 国道4号4車線化促進期成
 同盟会中央要望
9日 第一、第二小学校学習発表会
 泉崎村友の会「秋の旅」懇談会
10日 平成25年度泉崎村芸能発表会
 泉崎村友の会記念植樹
13日 第57回町村議会議長全国大会
 (～14日)
16日 国際交流協会「いも煮交流会」
17日 ふくしま駅伝応援
 ふくしま駅伝選手慰労会
19日 第二小学校太陽光発電施設竣工式
20日 泉崎村農業委員会総会
21日 第39回村民文化祭表彰式
 泉崎村交通対策協議会
 例月出納検査
22日 e・村民そば打交流会
23日 泉崎村議会議員視察研修(～27日)
26日 秋山錠剂(株)新製剤工場地鎮祭
28日 福島県町村議会議長会理事
 ・監事合同会議

【12月】

2日 議会運営委員会
 圏域市町村長並びに代表議長会議

「節分」には、「魔(ま)を滅(め)つする」ことから、その年を無病息災で過ごせるようにと豆を撒くそうです。

公共投資を中心とした国内需要の堅調な推移や雇用、所得環境の改善などから景気回復の判断がされています。

また、消費税増税、年金支給額の引き下げなど生活に影響のある制度改正が進められています。将来を見据えた実感できる政策を要望していかねければなりません。

泉崎村は振興基金の完済の壁を乗り越え、新しい目標を掲げ、地域づくり、人づくりに向かっておりますので、皆様のご意見を拝聴しながら活動してまいります。

時節がらご自愛ください。

編集・発行責任者

議長 中野目正治

編集委員会

委員長 鈴木 盛利
副委員長 飛知和良子
委員 鈴木 清美
岡部 英夫
小林 勝衛